

「福祉・介護のお仕事」ガイドブックの使用科目の実例と 「わたしと介護」作文コンテストについて

【使用科目の実例】

昨年度アンケートを実施し、実際に何の科目でガイドブックを使用したかを集計したものです(回答が多かったものは下線引きしてあります)。

総合的な学習

- ・「福祉について学ぼう」、「福祉について知ろう」
- ・「高齢者への支援」、「高齢者について考えよう」、「認知症サポート教室」、「お年寄りや体の不自由な方と交流し、学ぼう・考えよう・行動しよう」
- ・「将来の仕事について考えてみよう」
- ・「手と心で伝えよう」、「心のドアをノックして」、「手と心をつなごう」、「広げようふれあいの輪」
- ・「障害のある方との交流を通して、ものの見方や考え方を広げよう」、「目や耳の不自由な人の暮らし」
- ・「人にやさしい町づくり」、「だれもが安心して暮らせる街」、「みんなにやさしい街」、「だれもが住みよい町づくり」、「やさしい町に 広がれ！ふれ愛」
- ・「共に生きる」、「共に助け合って生きる」、「ともに生きるために」、「生き方を学ぼう」、「住みよい社会のために」

その他

- ・総合、国語「誰もが関わり合えるように」
- ・総合、道徳「働くことの大切さを知って」
- ・国語「わたしの研究レポート」、「調べたことを整理し、発表しよう」
- ・社会「安全な暮らしを守る」、「わたしたちの生活と政治」
- ・道徳「福祉について考える」、「生命尊重 あなたがもつ生きる力」、「勤労」、「ふしぎなぼくの気持ち 2(2)親切学級で高齢者について話し合う」

【「わたしと介護」作文コンテスト】

介護にかかわる実体験をした児童は作文を書いてぜひ応募してください！

→自分の祖父母との関わりや、学校の職場体験、地域のボランティア活動などを通じた介護の実体験について、感じたことや考えたこと、だれかに伝えたいことに関する作文を募集しています。

応募締切	平成30年9月5日(水)
対象	小学生 4年生～6年生
用紙など	400字詰め原稿用紙2枚以内
賞など	最優秀賞1名、優秀賞3名、入選5名 ※入賞者以外の応募者全員に参加賞を贈呈します
主催	石川県